

未来を拓く科学大好き教育 通信

郷土博物館 特別研究員 指導課 特別指導員
岩波 英一

「理科室のおじさん」を訪ねて

その20 日立市立中小路小学校

日立理科クラブ「理科室のおじさん」、松田洋一さんを訪ねました。松田さんは、中小路小学校2年目で、最初は、日立理科クラブの理数アカデミーに所属していましたが、「理科室のおじさん」の補充ということで、掛け持ちで関わるようになりました。出身は、石川県加賀百万石の松任(まっとう)市、現在の白山市です。この地の有名人では、「朝顔に釣瓶とられてもらい水」を詠んだ江戸時代の俳人、加賀の千代女の生誕地でもあります。

松田さんは、海に近い農村地の稲作が盛んなところで



日立理科クラブ・松田洋一さん

育ち、実家も半農でした。米はもちろん、トマトやキュウリ、カボチャ、野菜類などたくさん作っていて、高校生のころまで農家の手伝いをしていたそうです。「子どもの頃は、近くにある海が遊び場で、魚釣りもよくやりました。クロダイやエイなどの大物がたくさん釣れて、その当時、魚釣りの醍醐味を味わいましたよ。」と、当時を思い出しながら懐かしそうに話をしていました。

日立研究所に就職してからの約20年間、テレビやラジオなどの抵抗体の開発から始めて、「あらゆる機器の抵抗体に着手し、抵抗体一筋の専門家として勤務していました。」と、細かな数値をあげながら、仕事の内容を話していただきましたが、数値の大きさに驚くばかりでした。例えば、日立の製品である電子顕微鏡の性能を向上させるために、1000メガオームの高電圧基準抵抗器の開発に関わり、汎用機種で世界一の分解能を達成したそうです。

※メガオーム…電気抵抗の単位、1メガオームは100万オームを表す



使いやすく収納ボックスに整理された教具

「理科室のおじさん」の任を楽しんで行っている様子が伝わってきました。

現在は、週1の会社勤務のかたわら、余暇は、昔取った杵柄で家庭菜園を趣味としているそうです。

日立研究所勤務の後、約20年間は日立化成の関連会社・日立AICに勤務し、自動車、電話機や一般の機器などで活用されるプリント配線板の開発、製造に従事したとのことでした。

中小路小学校では、理科室の整備や理科学習実験装置の準備などを中心に行っています。また、科学クラブにも関わり、楽しく子どもたちと科学実験を実践しています。「理科担当の先生たちと協力しながら、理科室の環境づくりや実験教具などを、使いやすいように工夫しています。」と、中小路小学校での

— 問い合わせ先 —

Tel 0294(23)3231 FAX 0294(23)3230

IP 電話 050(5528)4928 内線電話 8954

E-mail:hakubutsukan1@city.hitachi.lg.jp

日立市郷土博物館 岩波 英一